

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑬【郷土づくり】 郷土の美しい自然、伝統行事・郷土芸能、温かい人のつながりのある社会、安全なまちを願い、地域づくりにかかわる。	総 合

## 【題材】「九戸村を創る」企画書をつくる

【対象】九戸村立九戸中学校 3学年51名（男子21名、女子30名）

### 【実践の概要・詳細】

3年間を通して、郷土（九戸村）を愛し、その復興・発展を支える人材を育成する。

1 学 年	<p>&lt;九戸村を知る&gt;</p> <p>1年生43名が村内の事業所等10箇所を訪問し村内の人生の先輩たちにインタビューをし、福祉、産業、特産物、建物、芸能の5つの領域について、歩んできた道、九戸村に向ける篤い思いを聴いた。学んだことを文化祭で寸劇を交えて発表した。</p>	 <p>&lt;調査結果を寸劇で発表&gt;</p>
2 学 年	<p>&lt;九戸村で働く、自らの生き方を考える&gt;</p> <p>2年生53名が村内の24事業所で4日間、職場体験をした。</p> <p>事前の電話での依頼、依頼状の作成、事前打ち合わせ、4日間の職場体験、レポート作成、礼状の作成等を通して感じた思いを色紙にしたため、文化祭での「14歳立志」で発表した。</p>	<p>(1年生)私たちは、九戸村の良さを語れるようになることを目標に学習しました。調べている中で、私たちがすごいと思ったことは、九戸村の人たちです。九戸村を愛し発展させようと努力していることがよくわかりました。私たちが九戸村の一員として何ができるかを考え頑張っていきたいと思います。</p>  <p>&lt;14歳立志&gt;</p> <p>職場体験から学んだことを発表</p>
3 学 年	<p>&lt;「九戸村を創る」企画書をつくる&gt;</p> <p>関東方面に修学旅行に行き、郷土「九戸村」を振り返り、「九戸村をより良い村にするためにどうすればよいか」を考えた。一人一人がさらに調査をし、一人一提言のかたちで「九戸村を創る」企画書をつくり、学年代表が九戸村長に手渡した。</p> <p>これからの九戸村を創るために自分たちが一体となって頑張ることの大切さを、郷土芸能「江刺家神楽」を3学年生徒全員で一体となって踊ることで表現した。</p>	 <p>&lt;一人一提言「九戸村を創る」企画書&gt;</p>

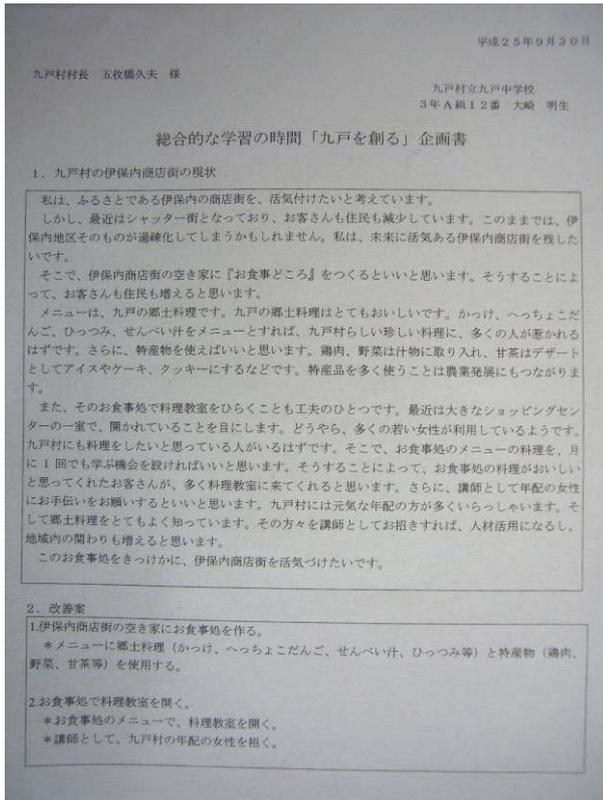


温かいまなざしで応援する保護者、地域の皆さん

楽しみに行きました。子ども達、最高でした。良くがんばりました。感動をありがとうございます。⑤閉会式もまた感動的で思わず涙・・・でした。クラスごとにまとまって話していた感想発表も、涙する子もいたり笑ったり、本当に充実した文化祭だったんだなあと感じ、感動して見ていました。クラスごとの絆も深まったと思います。⑥子ども達は、準備期間中より、練習でのぶつかり合いなどを経て、一生懸命に取り組んでいることが伝わってきました。作品の一つ一つを見て、本当に感激でした。本当に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

(保護者)①1年生は地域の事をよく調べたと思った。2年生の一人一人の志の発表がとても立派でした。3年生の神楽は九戸の文化の継承。今後もぜひ続けてもらいたい。②3学年の神楽、合唱、さすが！！素晴らしかったです。とても感動しました。やらされているのではなく、自分達で、仲間で作らされた文化祭を感じ、胸が熱くなりました。③どの発表もとても感動しました。一生懸命がんばっている姿はとてもいいなと思いました。④発表を

＜「九戸村を創る」企画書を作成、一人一提言＞



＜一体感を表現、全員で郷土芸能を踊る＞



- 1 構想を練る（一体となって頑張る姿を表現する一場面として九戸村に伝わる郷土芸能「江刺家神楽」を踊ることを確認する
- 2 江刺家神楽を学ぶ
  - ① 江刺家神楽保存会代表者の講話を聴く（神楽とは、江刺家神楽とは、神楽についての思い、舞の構成とそれぞれの意味等）
  - ② 江刺家神楽保存会及び先輩（岩手県立伊保内高等学校郷土芸能委員会）の舞を観る
  - ③ 踊りを学ぶ
- 3 保護者及び地域の方々に、一体となって郷土芸能「江刺家神楽」を踊る姿を観てもらおう



←校内弁論大会  
＜自分の気持ちを素直に見つめ、これからどう行動していくかを考え、全員が原稿を書き、発表し合った＞

校内合唱コンクール↓  
＜学級一体となって思いを届ける＞



校内新聞コンクール↑  
＜今を見つめ、自分たちの成長、これからの思いを表現＞



＜まとめ＞

1学年で「郷土(九戸村)を調査し、九戸村の人たちの九戸村への思いを知り、自分の生き方を考える」、2学年で「九戸村で働き、九戸村の人たちの生き方や思いを感じ、自分の生き方を考える」、3学年で「九戸村をさらにより良い村にするためにどうすればよいかを考え、一人一提言する」流れができてきた。

日常の教育活動の積み重ね及び行事を通して成長していく姿が感じとられる。日々、親の心、九戸村民の心を感じ取り、生きる姿を見習いながら育った子どもたちが、この後、今の九戸村民同様、地域住民の幸せを願ってそれぞれの地域をリードしていくことを願う。育ててくれた九戸村への感謝の気持ちをもちながら。